

# 2016年3月期 第2四半期決算説明会

2015年11月16日



(証券コード:9888)



# CONTENTS

1. 2016年3月期第2四半期決算（連結）の解説
2. 今後の業績見通し

本資料は、2016年3月期第2四半期決算の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また本資料は2015年11月16日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証または約束するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。

# 2016年3月期第2四半期決算（連結）の概要

単位：百万円

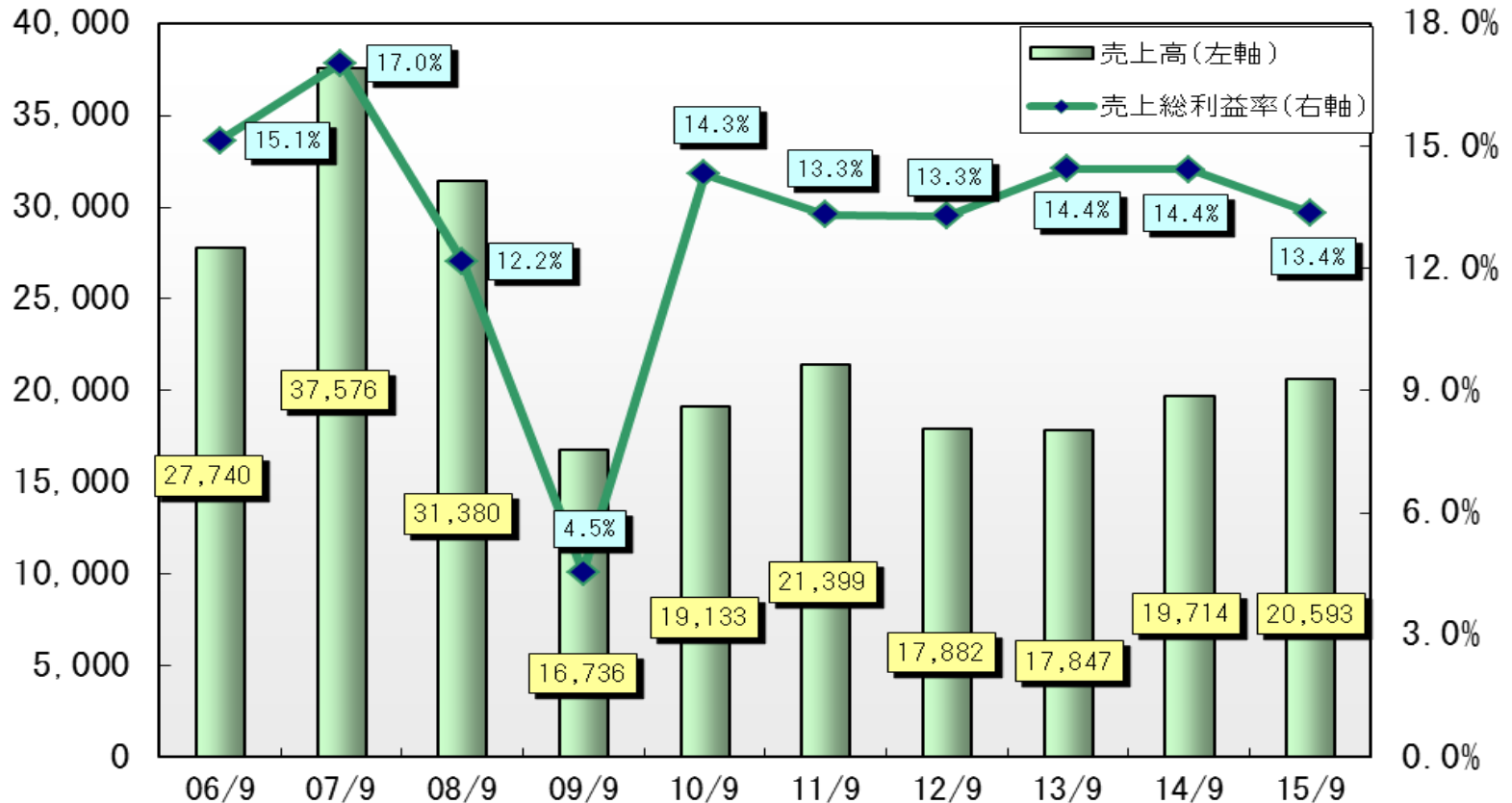
	14/9 実績	当初計画 (15/5/11)※	15/9 実績	前年 同期比	計画比
売上高	19,714	20,600	20,593	+4.5%	-0.0%
売上総利益	2,844	2,912	2,751	-3.3%	-5.5%
(率)	(14.4%)	(14.1%)	(13.4%)	(-1.1%pt)	(-0.8%pt)
営業利益	290	230	274	-5.4%	+19.3%
経常利益	289	220	269	-7.2%	+22.0%
四半期純利益	226	60	158	-30.3%	+162.9%

※その後15/10/27に修正しております。

- 積極的な営業展開を図った結果、売上高はほぼ計画通りとなり前年同期比増収。
- 売上総利益率の低下により、営業利益は前年同期比5.4%減。

# 売上高・売上総利益率推移(連結)

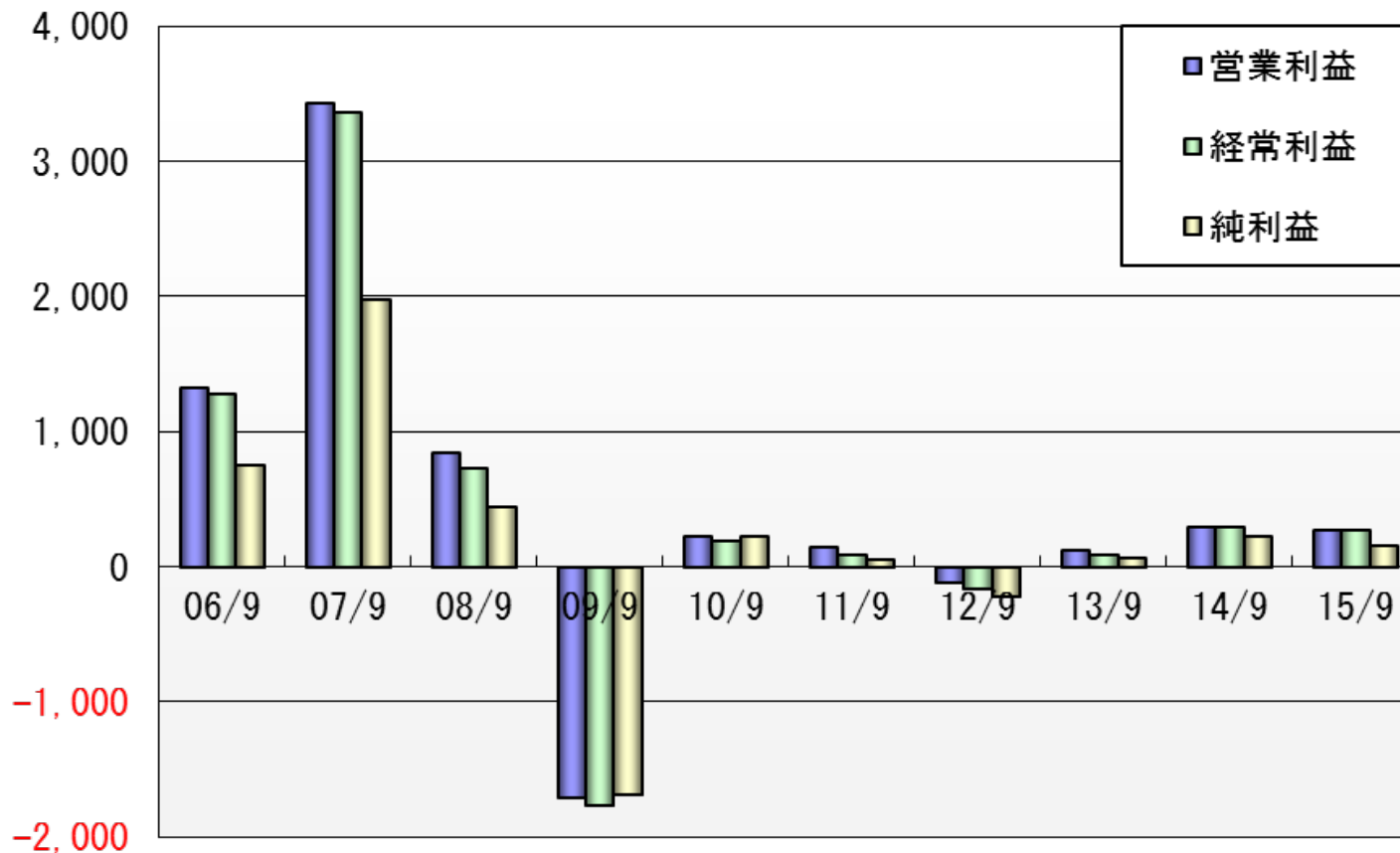
単位：百万円



■ 売上高は前年同期を上回ったが、原価上昇により売上総利益率が低下。

# 利益推移(連結)

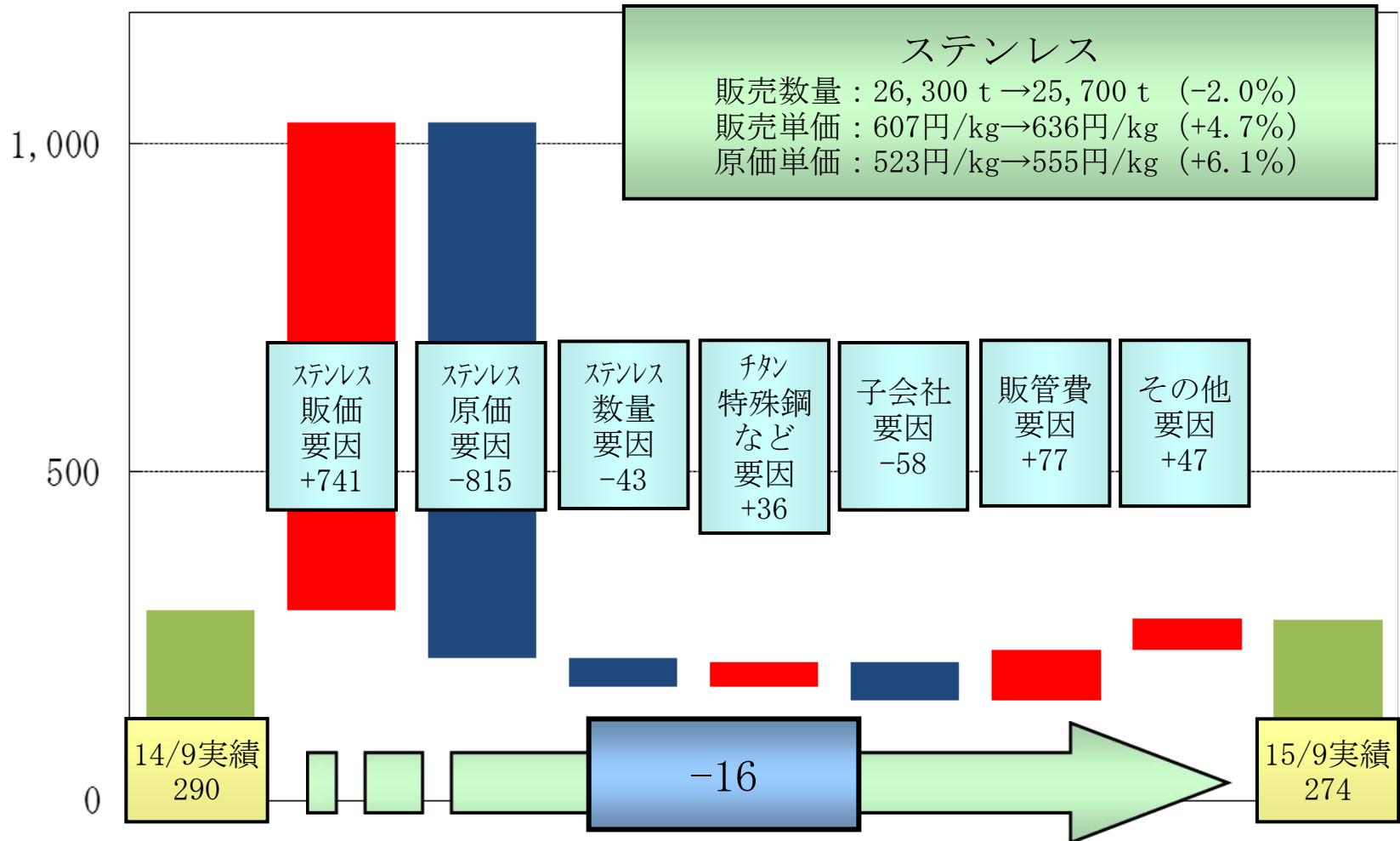
単位：百万円



■ 全ての利益段階で黒字を計上したが、利益額は減少。

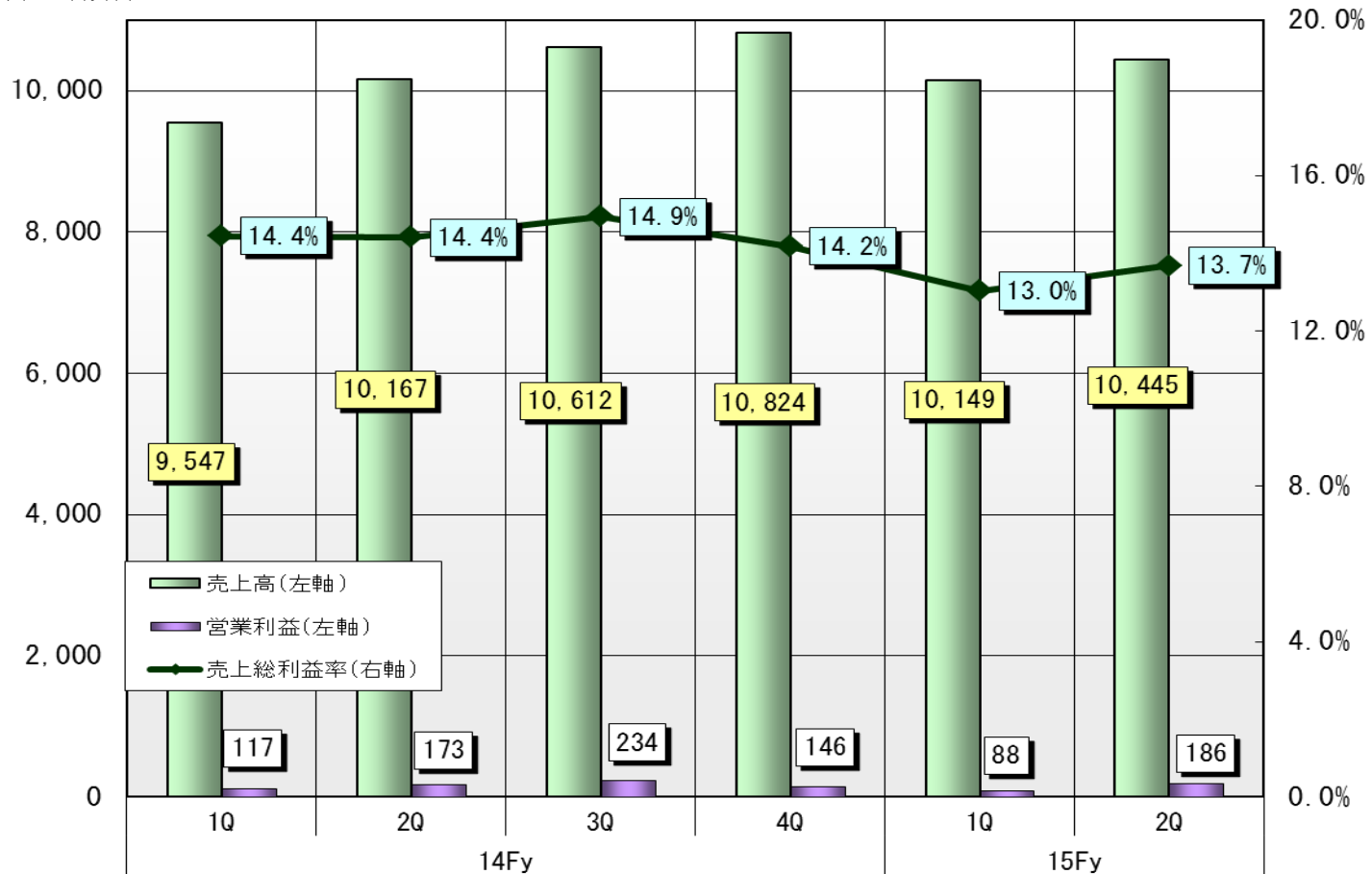
# 連結営業利益変動要因分析(前年同期比)

単位：百万円



# 売上高・売上総利益率・営業利益四半期別推移（連結）

単位：百万円



■ 2Qは単体、子会社ともに売上総利益率が上昇し、営業利益が改善。

# 販売費及び一般管理費（連結）

単位：百万円

	14/9実績	前年同期比	15/9実績
売上高	19,714	+4.5%	20,593
販売費及び一般管理費	2,554	-3.0%	2,476
（販管费率）	（13.0%）		（12.0%）
（うち 人件費）	1,419	-3.8%	1,365
（うち 荷造運搬費）	408	+5.9%	432
（うち 家賃地代・賃借料）	122	-5.7%	115
（うち 減価償却費）	154	-1.0%	153

- 荷造運搬費は増加したが、人件費、家賃地代、減価償却費等が減少し、売上高販管费率は1%低下。



# 連結貸借対照表

単位：百万円

	15/3/31 現在	----- 15/3/31比	15/9/30 現在
<b>資産の部</b>			
流動資産	20,921	-1.6%	20,587
(うち 受取手形及び売掛金)	10,560	+1.1%	10,679
(うち 商品など)	7,615	-4.1%	7,304
固定資産	9,976	-0.2%	9,960
<b>資産合計</b>	<b>30,898</b>	<b>-1.1%</b>	<b>30,547</b>
<b>負債の部</b>			
流動負債	18,264	-1.2%	18,043
(うち 支払手形及び買掛金)	12,703	-5.1%	12,058
固定負債	2,758	+0.1%	2,760
<b>負債合計</b>	<b>21,021</b>	<b>-1.0%</b>	<b>20,802</b>
<b>純資産の部</b>			
<b>純資産合計</b>	<b>9,876</b>	<b>-1.3%</b>	<b>9,745</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>30,898</b>	<b>-1.1%</b>	<b>30,547</b>

- 在庫圧縮を継続し、流動資産、流動負債ともに減少。
- その他有価証券評価差額金（含み益）の減少により、純資産も減少。

# 連結キャッシュフロー計算書

単位：百万円

	14/9実績	15/9実績
営業活動によるキャッシュフロー	526	-20
投資活動によるキャッシュフロー	-111	-71
財務活動によるキャッシュフロー	-385	-14
現金及び現金同等物に係わる換算差額	13	1
現金及び現金同等物の増減額	44	-106

# セグメント別会社一覧

単位：百万円

事業区分	会社名	資本金	出資比率 (%)	売上高		事業内容
				14/9実績	15/9実績	
【第1セグメント】 ステンレス鋼などの販売	U E X (当社)	1,512	—	18,898	19,614	ステンレス鋼などの在庫加工販売
	U E X 管材	12.8	90	619	670	鋼管・鋼材・継手類の販売
	日進ステンレス	20	100	697	989	半導体装置用ステンレス鋼管等の販売
	ナカタニ ※	10	33.6	1,749	1,701	鋳造品・鍛造品・機械部品などの設計・加工・販売
	ステンレス急送	10	100	185	196	貨物自動車運送業
【第2セグメント】 加工製品の製造・販売	大崎製作所	15.5	100	429	473	有圧換気扇ウェザーカバーのOEM生産
	上海U E X	千US\$ 2,000	100	10,457千元	8,051千元	鋼管加工製品の製造・販売
【第3セグメント】 機械装置・エンジニアリング	上野エンジニアリング	60	90	521	346	一般産業用機械装置の設計・製作

※ 持分法適用会社

# セグメント別の状況

	売上高			営業利益		
	14/9期	15/9期	前年同期比	14/9期	15/9期	前年同期比
【第1】ステンレス鋼などの販売	18,610	19,719	6.0%	228	199	-12.7%
【第2】加工製品の製造・販売	584	536	-8.2%	84	74	-11.7%
【第3】機械装置及びエンジニアリング	521	339	-34.9%	-25	-6	—
調整	—	—	—	4	8	73.4%
合計	19,714	20,593	4.5%	290	274	-5.4%

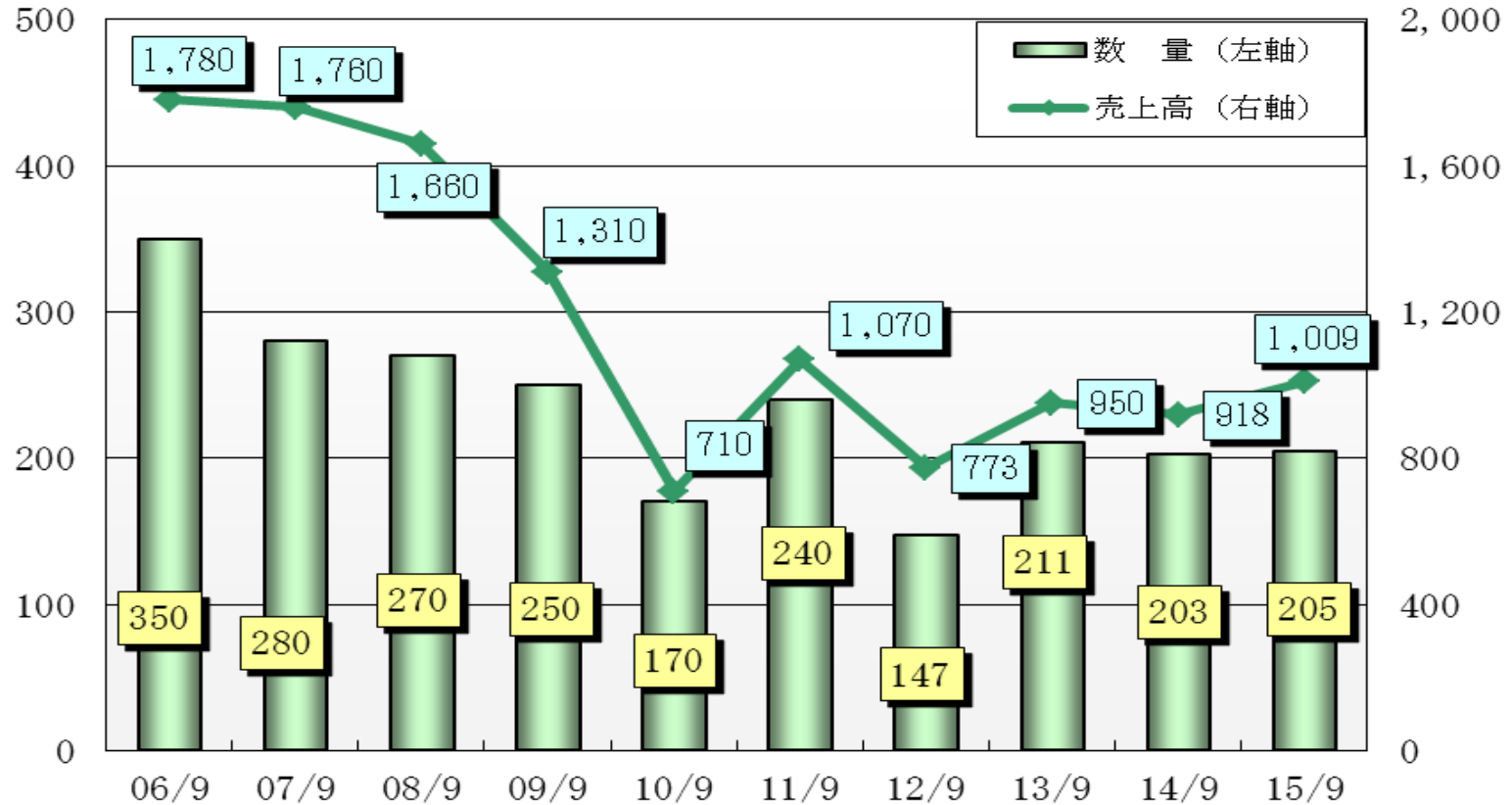
単位：百万円

- 【第1】 販売価格の上昇などにより増収、売上総利益率の悪化により減益。
- 【第2】 国内建築分野のステンレス加工品販売が好調、中国造管事業は減収減益。
- 【第3】 主要な物件の売上計上がなく、販管費を賄うことができず営業赤字。

# チタンの販売概況

単位：トン

単位：百万円



■ チタン展伸材の全国出荷量（4月～7月の4ヶ月間）は、4,087トンと前年同期の4,388トンから7%減少。当社の販売量は205トンと1.0%増加。

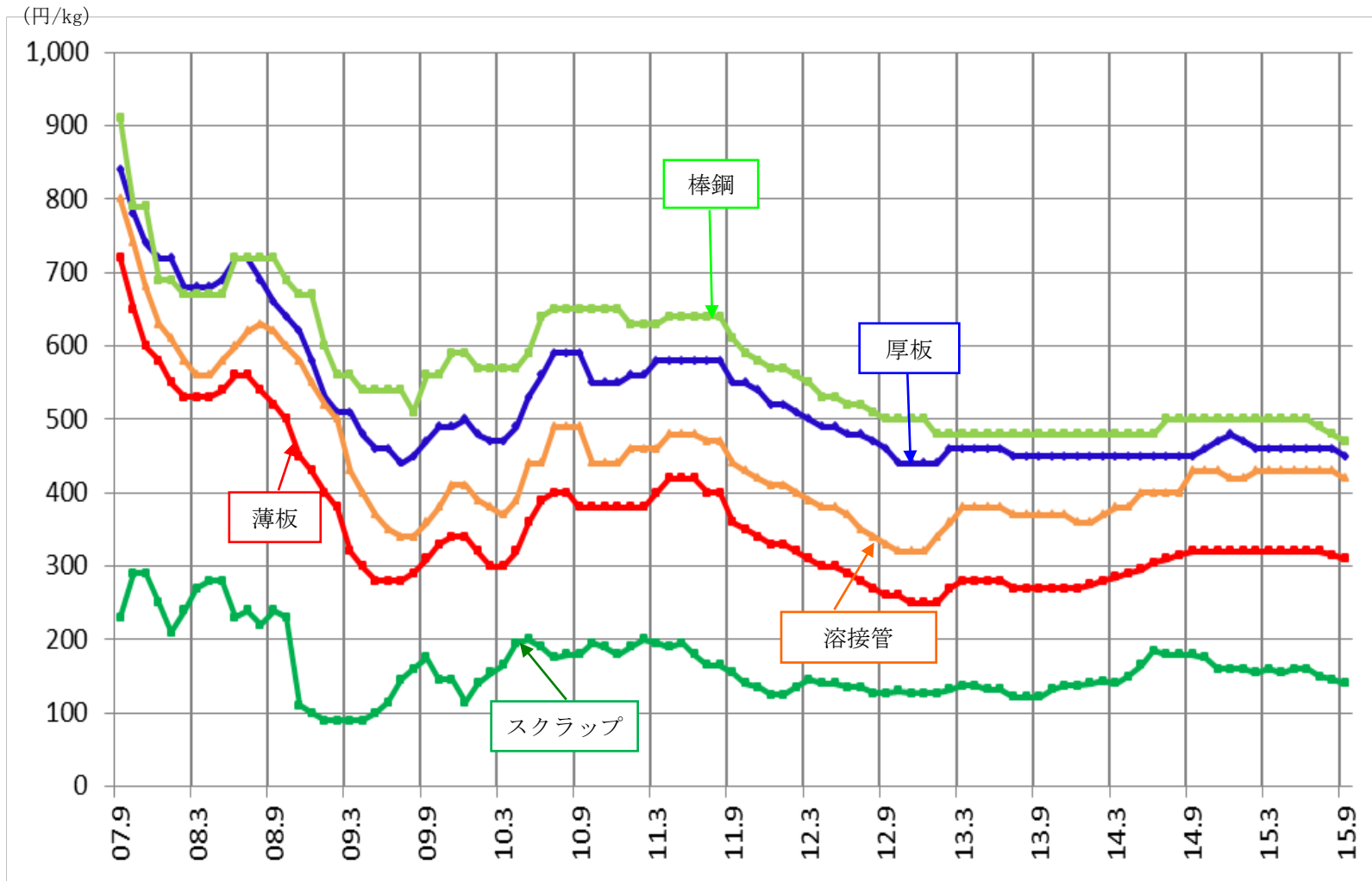
## 2016年3月期連結業績見通し

単位：百万円

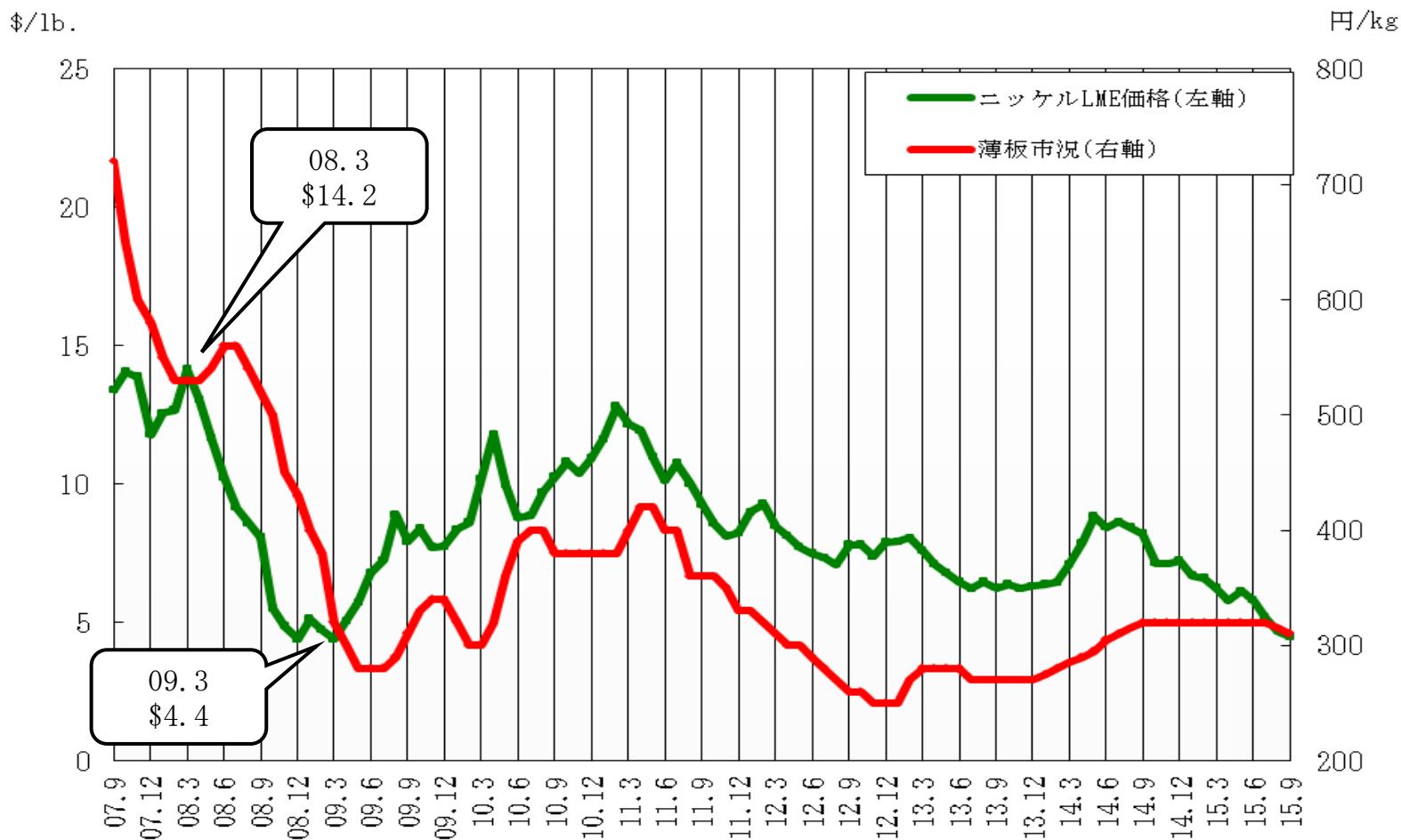
	15/3 (実績)			16/3計画 ②	前期比	《参考》 16/3計画 【単体】
		上期 ①	下期 ②—①			
売上高	41,150	20,593	21,207	41,800	+1.6%	39,800
売上総利益	5,964	2,751	3,239	5,990	+0.4%	5,160
(率)	(14.5%)	(13.4%)	(15.3%)	(14.3%)	—	(13.0%)
営業利益	670	274	356	630	-6.0%	430
経常利益	689	269	371	640	-7.0%	570
当期純利益	686	158	202	360	-47.5%	350

- 通期計画は、連結・単体ともに期初計画から変更なし。
- 子会社は、第2セグメントは減収減益ながらも高水準継続、第3セグメントは下期も厳しい見通し。

# ステンレス市況推移



# ステンレス価格とニッケルLME価格の推移

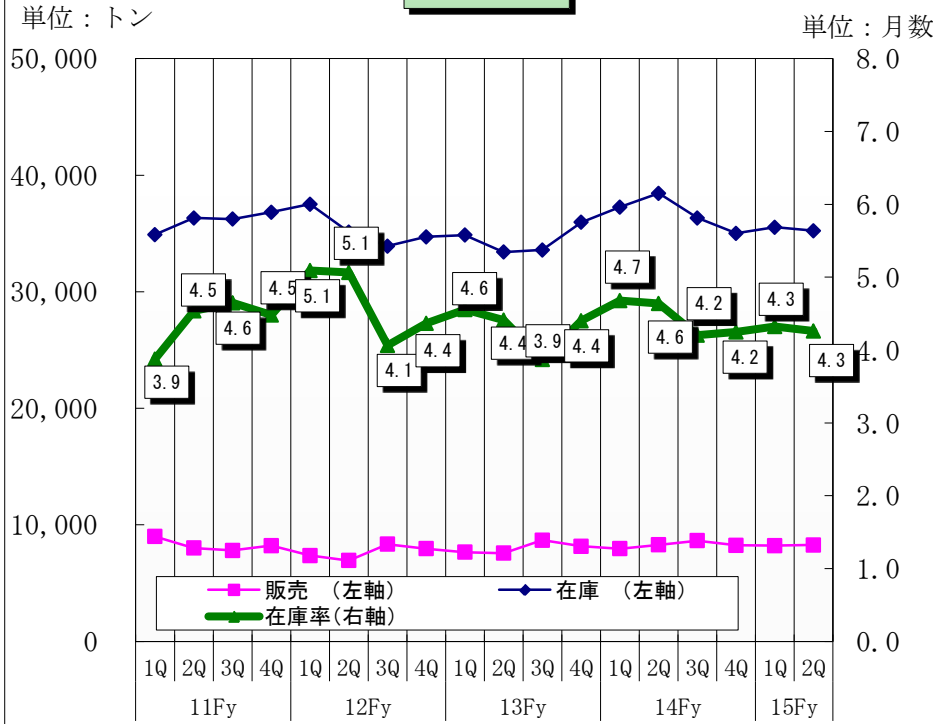


出所：UEX調べ（薄板市況）



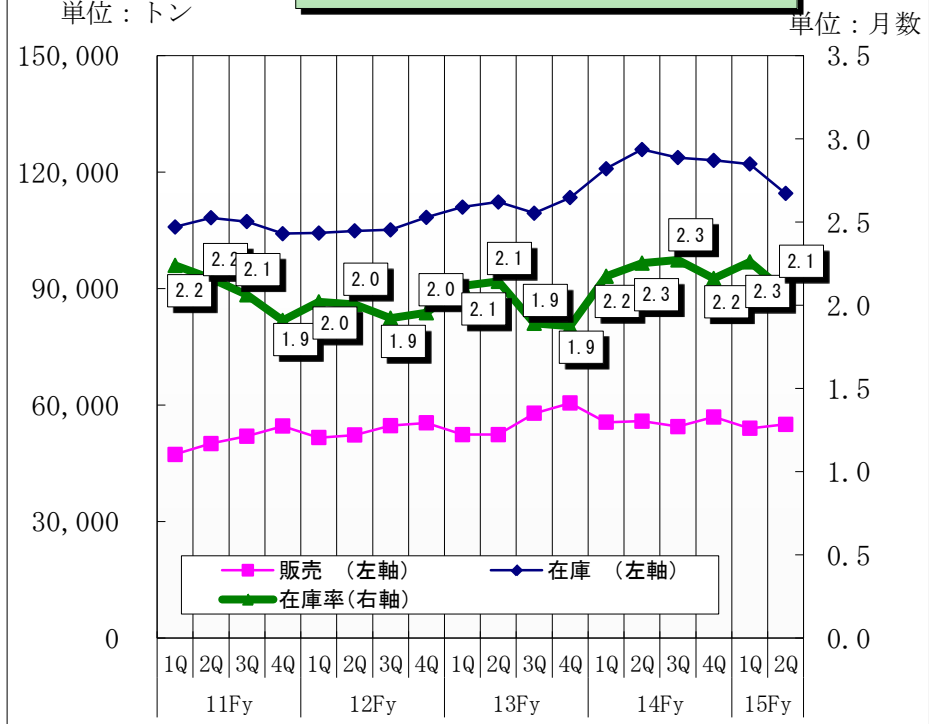
# ステンレス鋼板市中在庫状況

熱延鋼板



出所：ANS会統計資料をもとに当社が作成

冷延鋼板一部熱延コイル含む



出所：JSCA統計資料をもとに当社が作成

- 熱延鋼板は、販売、在庫量ともに横ばいで在庫率も変わらず。
- 冷延鋼板は、販売が横ばいの中、在庫量が減少し在庫率は改善。

# <参考> 經濟環境

## 鉱工業生産指数・実質GDP

2010年平均=100



出所：経済産業省（季節調整指数）2015.10.29

## 機械受注 対前（月）期比

単位：%

需要者	期・月		2015		
	2014 7~9月 実績	10~12月 実績	1~3月 実績	4~6月 実績	7~9月 見通し
受注総額	-13.7	-2.4	12.0	-2.5	2.0
民需	4.8	-1.8	18.2	-9.0	5.9
民需(除船電)	3.8	0.7	6.3	2.9	0.3
製造業	10.7	2.4	2.3	12.1	-3.6
非製造業(除船電)	-3.4	-1.1	8.5	-1.7	1.7
官公需	-14.8	3.9	4.4	4.0	-8.5
外需	-25.5	-3.3	10.9	-5.7	8.0
代理店	3.2	1.6	-4.7	1.1	-2.1

出所：内閣府 機械受注統計（季節調整値）2015.10.8

	11Fy				12Fy				13Fy				14Fy				15Fy
	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
実質GDP	-0.5	2.6	0.1	1.1	-0.4	-0.5	-0.2	1.4	0.8	0.4	-0.3	1.2	-2.0	-0.3	0.3	1.1	-0.3

出所：内閣府（実質季節調整系列：前期比）2015.9.8

年率換算  
-1.2%